

桜島砂防工事の「被災者ゼロ」を追求！

～『第18回 桜島砂防関係安全施工管理技術研究発表会』を開催しました～

平成29年2月10日（金）、鹿児島市の国民宿舎レインボー桜島（桜島島内）で、「第18回桜島砂防関係安全施工管理技術研究発表会」を開催しました。

この発表会は、1996年12月に新潟・長野県境の蒲原沢（がまはらざわ）で発生した土石流により、災害復旧工事現場の作業員14人が亡くなった痛ましい災害を契機に、土石流等に備えた砂防工事の安全対策を共有することを目的として開催しています。

当日は、多数の聴講者（鹿児島県内の32業者94名）が詰めかけ、熱気漂う会場の雰囲気の中、9社の施工業者が発表を行いました。

いずれの発表も各施工箇所の安全上の課題を踏まえた甲乙付けがたい取り組みの発表であったため、全国推薦1社を決定する審査もかなり難航しましたが、最終的に、「桜島管内堰堤等補修・補強その他工事における安全対策について」を発表した（株）鹿大丸を全国推薦に決定しました。

この発表会は今後も継続し、桜島砂防工事で絶対に被災者を出さない安全施工技術を追求して行きます。

加藤所長の挨拶を皮切りに発表会スタート!



【発表課題】

- ①桜島管内堰堤等補修・補強その他工事（株鹿大丸）
- ②春松川5-2号床固工外1件補修補強その他工事（株野添組）
- ③春松川4号堰堤補修補強その他工事（株野添土木）
- ④春松川3号堰堤補修補強その他工事（久保工務店株）
- ⑤春松川1-4号床固工外1件補修補強その他工事（株森組）
- ⑥長谷川県道橋下部工工事（徳澤建設株）
- ⑦野尻川外除石工・堰堤等補修工事（丸福建設株）
- ⑧長谷川溪流保全工外工事（株植村組）
- ⑨平成28年度 桜島管内堰堤等補修・補強その他工事（株渡辺組）



少量の雨でも土石流が発生する桜島。安全施工技術は不可欠です。

満員の会場内。
発表者もやや緊張気味？

野尻川5号ダム下流